



RESPONSIBLE INVESTMENT REPORT 2024

野村アセットマネジメント株式会社 責任投資レポート2024

経済的価値と 社会的価値の両立を 追求し続ける

それが、野村アセットマネジメントのあり方です。

RESPONSIBLE INVESTMENT REPORT 2024 | CONTENTS



03	責任投資の強み	23	ウェル・ビーイング
05	海外拠点との連携	27	人的資本の活用に向けて
07	CEOメッセージ	31	人権問題への取組み
09	インベストメントチェーン	37	TCFD/TNFD
10	当社のマテリアリティ	49	NATURE & BIODIVERSITY
11	ESGステートメント	55	当社のプロダクト・ガバナンスにおける取組み
17	PRIにおける野村アセットマネジメントの取組み	61	責任投資もいよいよプライベート市場へ
19	運用における責任投資の基本方針		





- 63 エンゲージメントの基本スタンス
- 64 サマリー
- 65 エンゲージメント・プロセス
- 66 エスカレーション・プロセス
- 67 深いエンゲージメント
- 69 中小型企业との対話促進に向けた取組み
- 70 エンゲージメント活動による効果の測定

- 71 食品業界に対するエンゲージメント
- 73 債券エンゲージメント
- 74 重点テーマの改編
- 75 外国株式エンゲージメント
- 78 モーニングスター・サステナビリティクスによるエンゲージメント
- 79 イニシアティブとの連携



- 81 議決権行使の特徴
- 82 基本的な考え方
- 85 議決権行使の体制
- 88 日本企業に対する議決権行使基準
- 93 開示：高い説明責任



- 97 インテグレーションにおける特徴
- 98 株式インテグレーション
- 99 ESGインテグレーションの高度化への取組み
- 101 インパクト投資
- 107 日本株ESGスコア
- 109 国際政治の潮流変化とサステナブル投資の今後の方向

- 111 トランジション金融とトランジション計画の評価
- 112 日本のグリーン地方債市場
- 113 アルファ源泉としてのサステナビリティ
- 114 円債クレジット運用におけるESGの活用



115 責任投資諮問会議議長からのメッセージ

116 取締役会議長メッセージ

117 2024年のステューワードシップ活動に対する自己評価の結果について

119 野村アセットマネジメントのESG情報発信に関する活動

120 2024振り返り2025その先へ

責任投資の強み

STRENGTH

責任投資に対する長期コミットメント

第一の強みは、長期にわたる責任投資への取組みの歴史です。現在の責任投資委員会のルーツは、2001年に設置した議決権行使委員会にあります。その後、2011年にESG委員会を設置。2014年、2015年に組織体制の見直しを経て、現在の責任投資委員会となりました。長い歴史の中で、常にお客様からの付託を意識した真剣な議論を積み重ねることで、多くのプロフェッショナルによる多様な意見、活発な議論を尊重した責任投資に資する文化が形成されています。

責任投資の歴史



※1 UK FRC (Financial Reporting Council) : 英国財務報告評議会の略。
※2 TCFDはすでに解散していますが、当社の気候変動への取組みを明示的に開始したために記載をしています。

STRENGTH

2

ESGへの体系的・継続的な取組み

第二の強みは、時代の要請や変化を先取りした体系的かつ継続的なESGに対する取組みです。最高意思決定機関である責任投資委員会および同委員会を監督する責任投資諮問会議を設置した体制としています。また、同委員会を中心に、ESGステートメントをはじめとする各種方針の制定や改定、「望ましい経営」を実現するためのエンゲージメントおよび議決権行使、責任投資レポート、TCFD、TNFD等の開示を通じたステークホルダーへの情報発信といった取組みを継続して行っています。また、個別企業へのエンゲージメント戦略立案に当たり、気候変動問題への取組みについても他の経営課題解決のための取組と包括的に議論する体制とすることで、より効果的かつ実効性のあるエンゲージメント実現のために、サステナブル投資戦略室を設置(エンゲージメント推進室とネットゼロ戦略室の発展的改編)するなど、ESGに関係した組織強化も継続的に進めています。さらに、インパクトを創出する未上場企業などへ投資するクロスオーバー・インパクト投資による社会的価値と財務的価値の拡大を目指した取組みも開始させています。

責任投資における組織体制



主な活動内容



STRENGTH
3

グローバル&ダイバーシティ

第三の強みは、グローバルでダイバーシティ(多様性)に富んだ運用・調査体制です。責任投資のグローバル・プラットフォームをベースに、海外拠点においてESGプロダクトを運用するポートフォリオ・マネージャー、企業アナリストやカントリー・スペシャリストにより、ESG運用・リサーチ体制が構築されています。また、国内最大規模のアクティブ運用に取り組む多数のポートフォリオ・マネージャーやESGインベストメントマネージャーだけでなく、企業アナリストやクレジットアナリスト、ESGスペシャリストやエンゲージメントマネージャーが卓越した分析力・洞察力を発揮し、責任投資にコミットしています。



STRENGTH
4

強固な組織体制によるインクルーシブな議論

第四の強みは、強固な組織体制下で多様な意見を基にした「議論を尽くす」姿勢にあります。責任投資委員会の議論をリアルタイムで監督する組織として責任投資諮問会議を設置し、独立性の高い社外取締役・社外有識者が過半数を占める形で、利益相反管理を行っています。また、委員会は、運用・調査経験の豊富なダイバーシティを考慮したメンバーで構成されており、2024年の委員会開催は計10回となっています。委員会における議案判断やESGテーマに関する議論では、白熱する場合も数多くあります。責任投資諮問会議のメンバーも委員会に陪席し、利益相反に限定することなく積極的な議論を行っています。

責任投資委員会の開催実績

2024年1月~12月

責任投資委員会

10回

定期	臨時
4回	6回

責任投資諮問会議

7回

定期	臨時
4回	3回



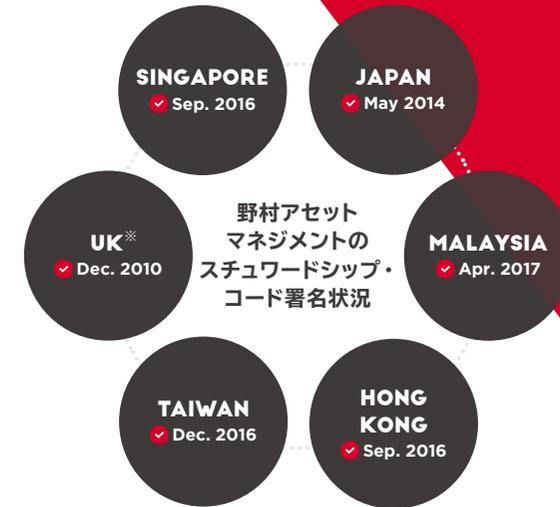
COOPERATION WITH OUR OVERSEAS OFFICES

海外拠点との連携

野村アセットマネジメントでは、責任投資のグローバル・プラットフォームをベースに東京・海外拠点と共にESGへの取組みを強化しています。

この共通プラットフォームを活用することで、各拠点においてESGへの取組みを進めるだけでなく、拠点間での綿密な情報共有が可能となっています。

「ESGステートメント」は、当社のESGに関連する活動の方向性とその課題について示されており、グローバルで共有されています（[P11-16](#)→参照）。



※2022年3月、野村アセットマネジメントUK拠点は、英国財務報告評議会（FRC）より英国ステュワードシップ・コード2020の署名機関として承認されています。

• ENGAGEMENT •

エンゲージメントに関する基本方針を基に、グローバルで財務および非財務の重要なリスク・機会について企業と建設的な対話を行っています（[P63-74](#)→参照）。具体的には、ESGスペシャリスト、ESGインベストメントマネージャー、エンゲージメントマネージャー、日本や海外拠点に在籍する企業アナリストやカントリー・スペシャリストなどが協力して、投資先企業に対するエンゲージメントを行います。その各国担当者による対象銘柄企業へのエンゲージメント内容は、共通のマイルストーン管理ツールを使ってモニタリングされているため、拠点間における情報共有もスムーズに行われています。当社のエンゲージメント重点テーマの一つである「気候変動」では、投資先企業にSBT認定を求めています。グローバルでその取組み状況をモニタリングすることで、進捗を確認することも可能となっています。また、海外拠点のESG担当者がエンゲージメント内容について、東京のESGスペシャリストと議論を行うことも容易になっています（[P75-80](#)→参照）。

• PROXY VOTING •

議決権行使（日本株以外）は、基本的に「グローバルな議決権行使の基本方針（行使の基本方針）」に則り賛否を判断し、グローバルに統一した行使を行います。ただし、現地の事情に詳しい各拠点の運用・調査担当者が必要と判断した場合は、協議のうえ行使の基本方針と異なる判断をすることもあります。（[P86](#)→参照）。

• ESG INTEGRATION •

インテグレーションにおいては、ファンド保有銘柄のエンゲージメント内容が運用者と共有され、必要があれば追加的なエンゲージメントを実施するなど、保有継続の有無に関する判断に活用しています（[P98-100](#)→参照）。外部の分析ツールを使い、当社が保有している銘柄やファンドごとの気候変動や自然資本に関連したリスク・機会を評価し、銘柄のESG評価も行っています（[P37-54](#)→[P107-108](#)→参照）。また、当社のESGスコアを拠点間で共有するとともに、外部のESG情報なども取り入れて投資判断に活用しています。

JAPAN



TOKYO

ASIA



SINGAPORE

HONG KONG/MALAYSIA/SHANGHAI

UK/EU



FRANKFURT

LONDON

USA



NEW YORK

責任投資
グローバル・
プラットフォーム



ポートフォリオ
マネージャー



リサーチ
プロフェッショナル
企業アナリスト、
クレジットアナリスト

クオンツアナリスト
クオンツアナリスト、
ファイナンシャルエンジニア



ESGスペシャリスト、
ESGインベストメント
マネージャー、
エンゲージメント
マネージャー